

令和6年1月22日
朝倉市
独立行政法人水資源機構

「寺内ダム再生事業着手式」を開催します

独立行政法人^{みずしげんきこう}水資源機構では、国土交通大臣から独立行政法人水資源機構法に基づく事業実施計画の認可を受け、令和5年度から「寺内ダム再生事業」に着手しています。

つきましては、寺内ダム再生事業の事業化に当たり、ご支援ご協力をいただいた関係者の皆様をお招きし、事業の順調な進捗と安全を祈念するため、下記のとおり「寺内ダム再生事業着手式」を開催します。

記

日 時：令和6年2月3日（土）10時00分～12時00分（予定）
場 所：あまぎ水の文化村（朝倉市矢野竹831）※別紙1
主 催：朝倉市、独立行政法人水資源機構
招 待 者：国会議員、福岡県、福岡県議会、朝倉市議会、地元関係者、国土交通省等 約40名程度
次 第：式辞、主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介、祝電紹介、事業概要説明等

※当日は一般の方は参加できません。

発表記者クラブ

国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
西日本新聞朝倉支局	読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局	朝日新聞太宰府支局

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 朝倉ダム総合事業所 総務課長 ^{すぎもと}杉本

住 所：福岡県朝倉市菱野1142
電 話：0946（52）8050（代表）

朝倉市企画振興部 水のまちづくり課長 ^{あなみ}阿南

住 所：福岡県朝倉市菩提寺412-2
電 話：0946（22）1111（代表）

2. 取材に当たっての留意事項

- ・現地での取材、撮影を希望される方は、1月29日（月）12時までに別紙2「取材申込書」により、独立行政法人水資源機構朝倉ダム総合事業所宛にFAXにて事前申込をお願いいたします。
- ・会場内では主催者の指示に従うとともに、式典進行等の妨げにならないようご協力をお願いいたします。
- ・会場警備の都合上、取材される際は必ず取材社証（腕章）をご持参の上、ご着用いただきますようお願いいたします。
- ・お申込みいただいた報道機関の方には、郵送にて当日の会場内への出入りに必要な「駐車証」をお送りします。式典会場にお越しの際には、「駐車証」を車のダッシュボードの外から見えるところに置いていただきますようお願いいたします。
- ・当日の駐車位置は、会場内の係員の指示に従ってください。
- ・中継車などの放送機材車両の駐車が必要な場合は、事前に別途ご連絡をお願いいたします。
- ・取材時には現地受付にて名刺をご提出いただきますようお願いいたします。
- ・参加者多数の場合、人数の調整をお願いする場合があります。
- ・式典開始前の招待者への取材はご遠慮ください。

独立行政法人水資源機構
朝倉ダム総合事業所 宛
(FAX : 0946-52-8030)

寺内ダム再生事業着手式 取材申込書

必要事項を記入の上、令和6年1月29日(月)12時までにFAXにてお申込みください。

1. 機関名

2. 代表者氏名 (ふりがな)

_____ (_____)

3. 取材者人数

_____ 名

4. 当日の車両情報

車種 : _____ 色 : _____

ナンバー : _____

※駐車場に限りがあるため、各社1台限りとします。

5. 駐車証の送付先

住所 : _____

6. 当日の連絡先

※申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

寺内ダムの概要

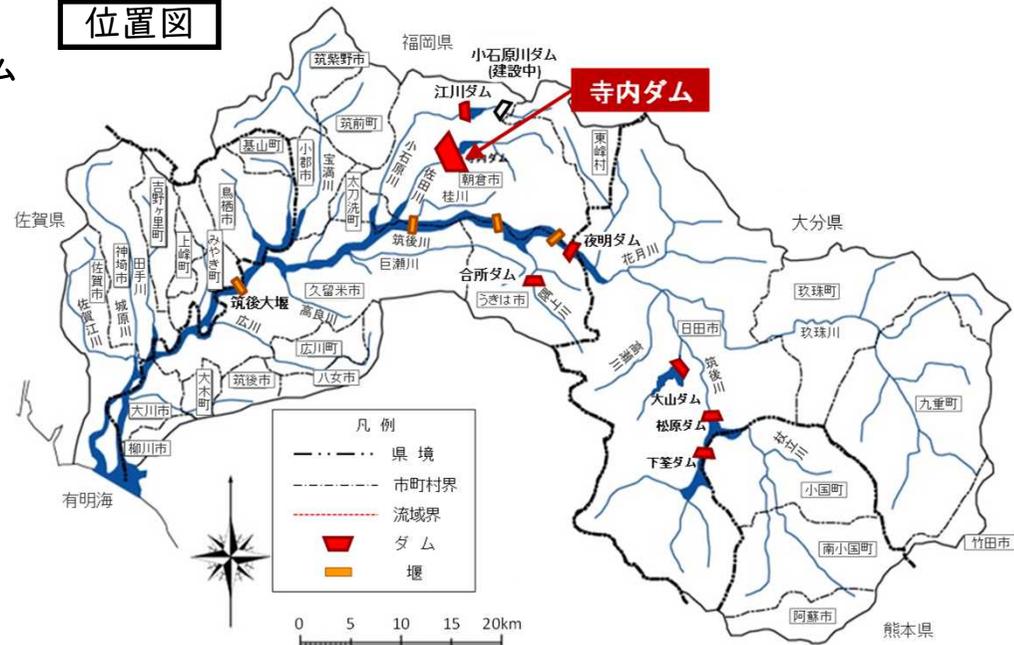
○寺内ダムは水資源機構初のロックフィルダム。昭和53年に管理開始し、令和5年時点で管理開始から45年経過。



諸元

型式：ロックフィルダム
 堤高：83.0m
 堤頂長：420.0m
 流域面積：51.0km²
 湛水面積：0.9km²
 総貯水容量：1,800万m³

位置図



目的

●洪水調節

ダム地点における計画高水流量：300m³/s
 洪水調節流量：180m³/s
 洪水調節容量：700万m³

●流水の正常な機能の維持

●水道用水 [江川ダムとの総合利用で開発]

水道用水：3.650m³/s

福岡地区水道企業団	1.669m ³ /s
福岡県南広域水道企業団	0.777m ³ /s
佐賀東部水道企業団	1.065m ³ /s
鳥栖市	0.139m ³ /s

●かんがい用水 [江川ダムとの総合利用で開発]

かんがい用水：最大11.795m³/s
 両筑平野の2市2町(朝倉市、筑前町、
 小郡市、太刀洗町)の農地約5,700haを対象

貯水池 容量配分

堤頂標高
EL.136.0m

洪水時最高水位 EL.131.5m

洪水調節容量 7,000千m³

平常時最高貯水位 EL.121.5m

利水容量 9,000千m³

〔不特定用水 700千m³〕
 農業用水 4,000千m³〕
 都市用水 4,300千m³〕

最低水位 EL.93.0m

堆砂容量 2,000千m³

寺内ダム再生事業の概要

○サーチャージ水位の見直し及び容量振替により、現況の洪水調節容量を700万 m^3 から880万 m^3 に増大させるとともに、洪水調節容量の増大に伴い非常用洪水吐きの改造を行うことで、治水機能の向上を図る。

事業概要

○目的

- ①洪水時最高水位の見直し、利水容量振替による洪水調節容量の増量
洪水調節容量700万 m^3 → 880万 m^3 (180万 m^3 増)
- ②洪水時最高水位見直しに伴う非常用洪水吐きの改造

○諸元

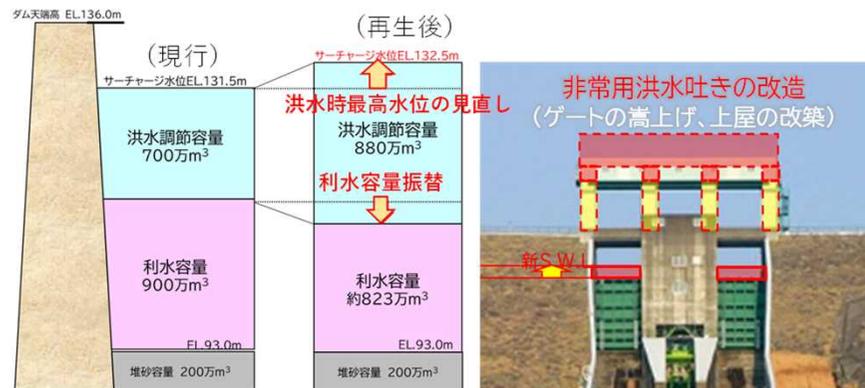
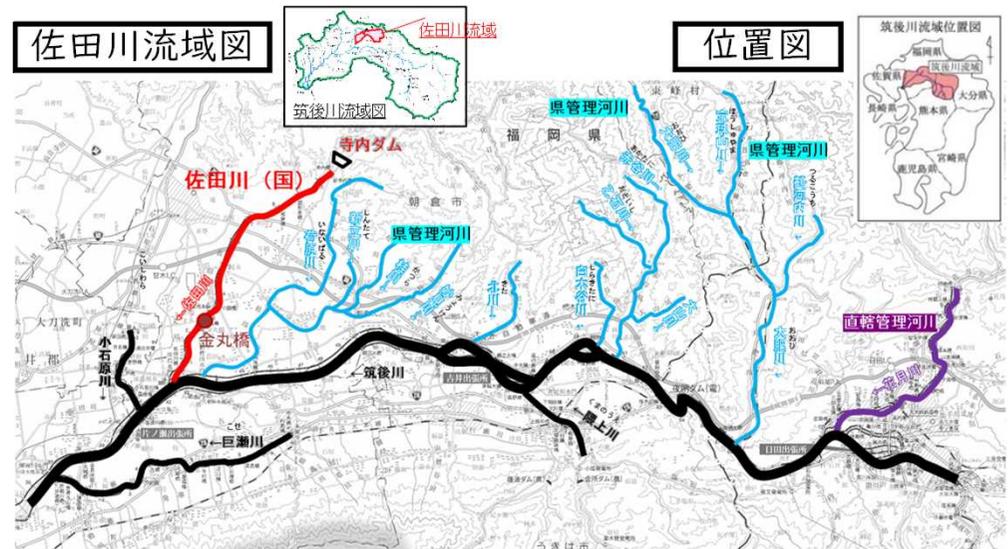
ダム高83m、総貯水容量1,903万 m^3 (ダム再生後)

○工期・総事業費

令和11年度完成予定、約85億円

○令和5年度実施内容

約2.6億円：放流設備設計、地質調査等



主な災害

洪水	被災状況
H29年7月洪水	床上浸水：282戸 床下浸水：567戸 花月川や中流右岸支川（赤谷川等）で大きな洪水を記録。
H30年7月洪水	床上浸水：423戸 床下浸水：1,011戸 久留米市において、甚大な内水被害を記録。
R2年7月洪水	床上浸水：355戸 床下浸水：1,600戸 久留米市において、甚大な内水被害を記録。
R3年8月洪水	床上浸水：282戸 床下浸水：567戸 久留米市において、甚大な内水被害を記録。

H29年7月洪水による被害



事業の効果

河川改修と併せて寺内ダム再生を行うことにより、H29年7月洪水と同規模の洪水に対して、被害の防止又は軽減を図る。

浸水世帯数：(ダム再生前) 604世帯 → (ダム再生後) 0世帯
浸水面積：(ダム再生前) 1,086ha → (ダム再生後) 16ha

※被災状況は、筑後川全体の被害を記載